



子ども医療費
市外受診の窓口払い

江川直一（公明党）

問 埼玉県は、子ども医療費の窓口払いを無くす予定が本年10月であるが、市外の医療機関を受診した場合の現状はどうか。

答 本市の子ども医療費助成制度において原則無料化する医療機関は、行田市内及び熊谷市だったが、本年10月診療分から県内全域に拡大した。

問 システムの導入やデジタル化の遅れなどは無いか、全ての窓口払いが無くなったのか。

答 窓口払いの無料化は、オンライン資格確認の導入の有無に関わらず県内全域で対応している。各医療機関が、現物給付の実施の有無を選択するもので、埼玉県に確認したところ、大学病院などで対応が遅れているのことである。

問 県外の医療機関を受診した場合は、どのような扱いとなるのか。

答 窓口払いの無料化は、埼玉県が県内市町村の委任を受けて県の医師会等と契約を締結したものである。市民が、県外で受診した場合は窓口無料化の対象外となり償還払いでの対応となる。

問 マイナンバーカードを健康保険証として利用した場合、支払いが10円高いのはなぜなのか、利用者負担の現状と、本市の事務などに関わる負担はあるのか。

答 昨年10月にオンライン資格確認が開始され、マイナンバーカードを健康保険証として利用が出来るようになった。これに伴い本年4月に診療報酬の改定が行われ、費用負担が多くなる現象が生じていたが、10月の改定により、是正されたものと認識している。なお、自治体の金銭的な負担は特段無い。

問 前立腺がんは近年、急激な増加で年間1万2千人が亡くなっている。ところが本市は検診補助を令和3年度から廃止した。補助を再開すべきと考ええるがPSA検査（血液検査）の有効性と実施についてどう考えるのか。



前立腺がん検診の補助が
なくなった理由について

斉藤博美（日本共産党）

問 器科学会では医学的エビデンスから国の指針に定めるよう厚労省に要望しているがどうなのか。

答 陽性結果を受け不安が生じたり、不必要な治療や検査を招く恐れがある。検診で100%発見できるわけではなく進行の遅いがんを見つけないといった過剰診断から国の指針にないと考える。

問 がん検診の不利益は自身で判断することである。前立腺がんは進行が遅いが症状が出たときには進行している。リンパ節、骨に転移するからこそ早期発見、治療が必要なのは。市職員が加入する埼玉県市町村職員共済組合には補助があるが市民には選択肢さえない。国が推奨する検診や指針にないのではなく市民の健康を守る観点で本市がどう考えるかではないか。

答 再度調査したい。

問 少子化に伴い教員の採用数を絞っている現状があり、教員不足となっていると言われているが、本市への影響、現状、課題はどのようか。



教員不足について
(教育行政)

梁瀬里司（黎明21）

問 校全体で対応している。児童・生徒に影響がないように学校で対応してもらいたい。が、県教育委員会へはこれまでに、どのような働きかけを行ってきたのか。

答 これまでの未補充教員に対する対応として、他市町村と連携を図り、臨時的任用教員に関する情報を収集した。また、大学には、教員免許を保有する卒業生の情報を問い合わせしたり、退職した教員に声がけするなど、様々な面から臨時的任用教員に関する情報を収集し、情報を県に提供してきた。

問 教員不足のある学校は何校で何名か。

答 5校6名である。

問 教員不足が本市でもあるとのことだが、対応はどのようになっているか。

答 各学校において、担任以外の先生や管理職が授業を行ったり、業務を分担したりするなど、学

【その他の主な質問】

- 学力向上
- 学校跡地利用
- 庁舎等壁面広告（活用）
- 乳酸飲料等配達サービス
- 市民活動の推進（屋外ステージの設置を）